

混合物のGHS分類の方法やSDSに記載する16項目について、  
調査や作成の手法をお伝えします！

# SDS作成の基礎講座【東京開催】

- ◆日 時：2024年4月25日(木) 10:30～16:30  
◆会 場：【会場受講】江東区産業会館 第2会議室  
◆受講料：1名につき55,000円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

- ・1名でお申込みされた場合、1名につき**49,500円**
- ・2名同時にお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で55,000円)**
- ・ライブ配信受講、会場受講いずれも受講料は同じです。

## セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

【講師】※講師のご略歴は弊社HPでご確認下さい。

小泉コンサルティングオフィス 代表 小泉 岳利 氏

### ☆講師紹介

《専門》  
経営全般、化学物質規制、業務効率化、品質保証、安全衛生、情報セキュリティなど  
《略歴》  
1991年3月:千葉大学 工学研究科 修了(工業化学専攻)  
1991年4月:大手総合化学・アルミ加工メーカー 入社  
2004年8月:工業用接着剤メーカー 入社  
2017年4月～現在:経営コンサルタント(中小企業診断士)  
《活動等》  
経済産業省認定経営革新等支援機関  
東京都中小企業診断士協会(中央支部) 正会員  
千葉県中小企業診断士協会 正会員  
ミラサボ登録専門家  
東京都中小企業活力向上プロジェクト支援専門家 など

### ☆趣旨

『日本では3つの法令(PRTR法、労働安全衛生法、毒劇法)に定められた化学物質を含む製品を流通・販売する場合に、SDSを提供することが求められています。』  
そう聞くと、日本では「ウチの製品は該当する物質を含んでいないからSDSは必要ない」と考える企業が多いようです。しかし、グローバルでは、GHSに従って分類した結果、何らかの区分がついた製品にはSDSを提供するのが基本です。またエンドユーザーが材料を購入する際には、危険有害性の如何を問わずSDSの提供を義務付けているところもあります。  
この講座では、混合物のGHS分類の方法やSDSに記載する16項目について、調査や作成の手法をお伝えします。

【プログラム】※詳細内容は弊社HPでご確認下さい。

- 安全情報伝達の必要性(SDSの基礎知識)
  - ・国際的な取組
  - ・GHSに基づくSDS・ラベル
  - ・国内の取組
- 国内の関連法令
  - ・SDS・ラベルに直接関連する主要国内法
  - ・関連が深い国内法
  - ・事業者がなすべきこと
- GHS分類方法
  - ・JIS Z 7252
  - ・混合物の分類
- SDSの記載内容
  - ・JIS Z 7253
- SDS作成手順
  - ・物性・毒性・性質の調査方法
  - ・混合物のGHS分類
  - ・記載内容の整理、項目ごとの整合
- SDS作成演習
- よくある疑問
- 質疑応答

## 『SDS作成』セミナー申込書

|       |    |        |  |
|-------|----|--------|--|
| 会社・大学 |    |        |  |
| 住 所   | 〒  |        |  |
| 電話番号  |    | FAX    |  |
| お名前   | 所属 | E-Mail |  |
| ①     |    |        |  |
| ②     |    |        |  |

### ●Webセミナーの受講申込みについて●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。上記のLIVEかアーカイブにチェックを入れて下さい。弊社から受付完了のご連絡をいたしまして請求書をお送りいたします。  
セミナーお申込み後、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席下さい。代理の方も見つからない場合、営業日(土日祝日を除く)で8日前まででしたらキャンセルをお受けします。

受講料の支払いに関してはHPをご覧ください。  
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>  
個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。  
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

☐ Eメール ☐ 郵送